

ADULT ONLY R18
CONTENTS
INCLUDE



わたしの
妖精
さん 
My Destiny





わたしの
妖精
さん

My Destiny



ねえ…



わたし、あなたのために…



一生懸命、がんばります…



だから、お願い…



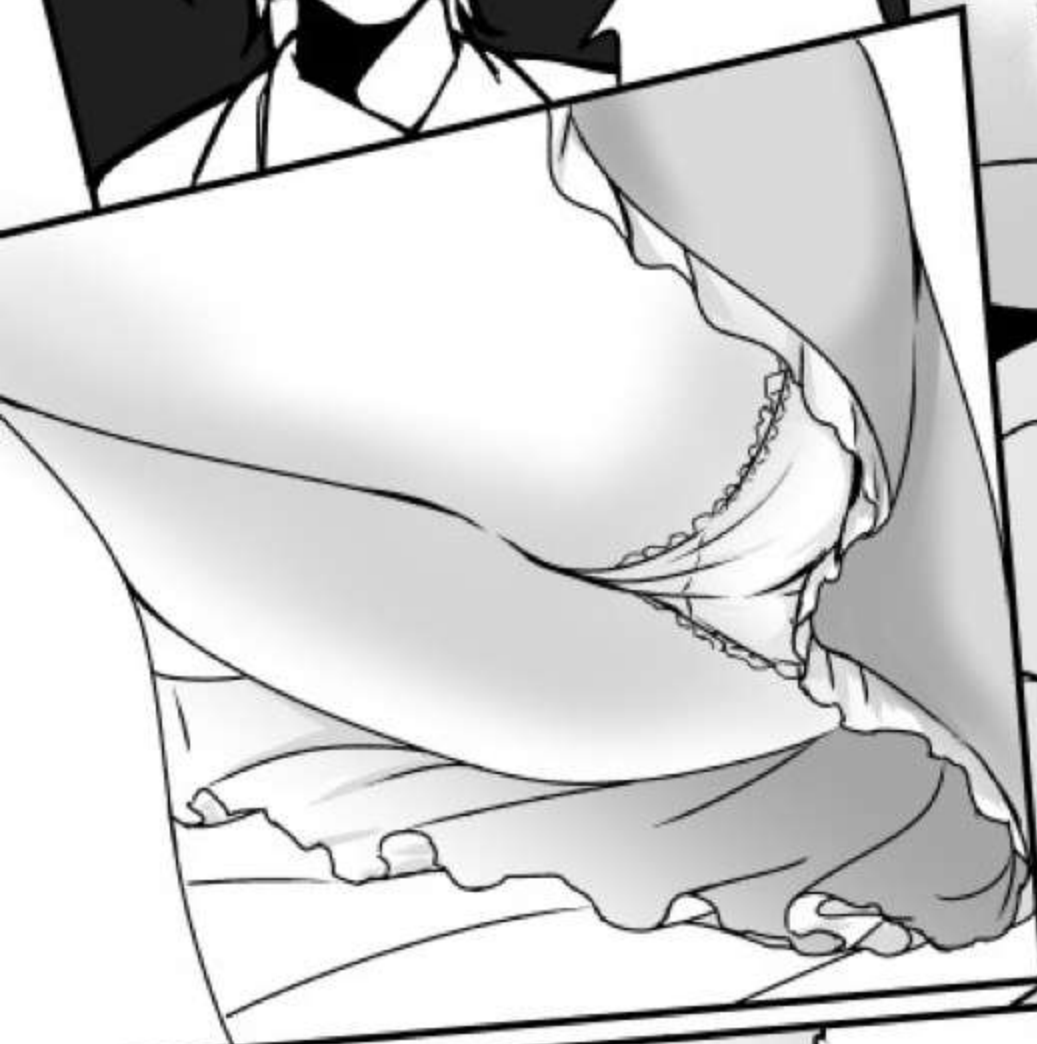


なんだか
気持ちよさそう
だけど

風邪引くと
大変だな…



…!
!?



寝てたのか…



あああ

そこは
気をつけて
くれないと…



と、とりあえず
何かで隠さな…

ん…
Pity?

あっ



い、いやあ、
ちよつと暑かった
だけだから
気にしないでっ

…あの

ごめん、
起こしちゃった？

いえ…私こそ
寝てしまって…

Pさん、
大丈夫ですか？
顔、赤いですけど…

…？
は、はい…



で、さあ…
もう結構長居
したし、そろそろ

あ



じゃあ
もう少し残るか

え、
本当ですか？

今日はもう
他に予定ないしな

えっ？
お、お…P

じゃあ…
Pさんもこれ、
一緒に見ませんか？



かっ…
帰るとか
言わないです
…よね？

涙目になる程
嫌なの？



すみません…

9:08 PM

こんな時間まで
付き合っ
てもらって…



Pさんにも迷惑
がかつちやいますよね…

帰るの
遅くなっちゃうし…

気にしてないから
大丈夫だよ

後は車を
事務所に戻すだけだし

それより今日、
どうだった?



はい!とつても
楽しかったです

カフェの雰囲気がよくて
つい夢中になっちゃいましたっ

こんな素敵なお店を
知ってるなんて…
Pさんって凄いですねっ

あー

今のってもしかして
勉強としてどう
って意味…ですか？

なのに私、
全然違う話を…

いや、
いいんだ

楽しんでくれるのが
何より大事だ

今回のお仕事はな…
智絵里にピッタリだ
と思って
取ってきたんだ

私…？



お花の妖精役での撮影なんだけど、

いつもみんなの幸せを願って

ファンを幸せな気持ちにできる

そんな智絵里は

俺にはまさに
絵本から飛び出した
妖精さんのように
見えるから



Pさん…



…



…

そろそろ察に着くから
この話はまた明日
にしようか…



智絵里？

もう少し…

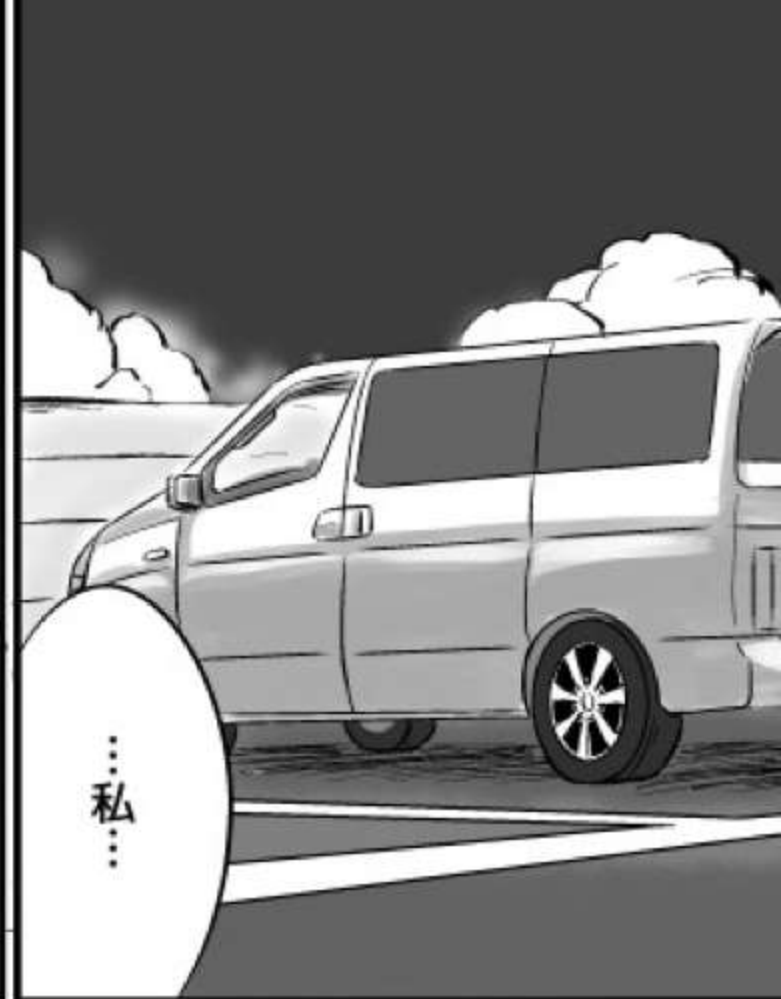
Pさんとお話して…
いいですか？



Pさんにそんな風に
思ってもらえて

すい〜ん…
嬉しいですよ

でも…



…私…



覚えてますか？
今日の絵本のお話…



私、自分は
妖精さんというより…

うさぎさんだと…
思うんです

うさぎさん…？

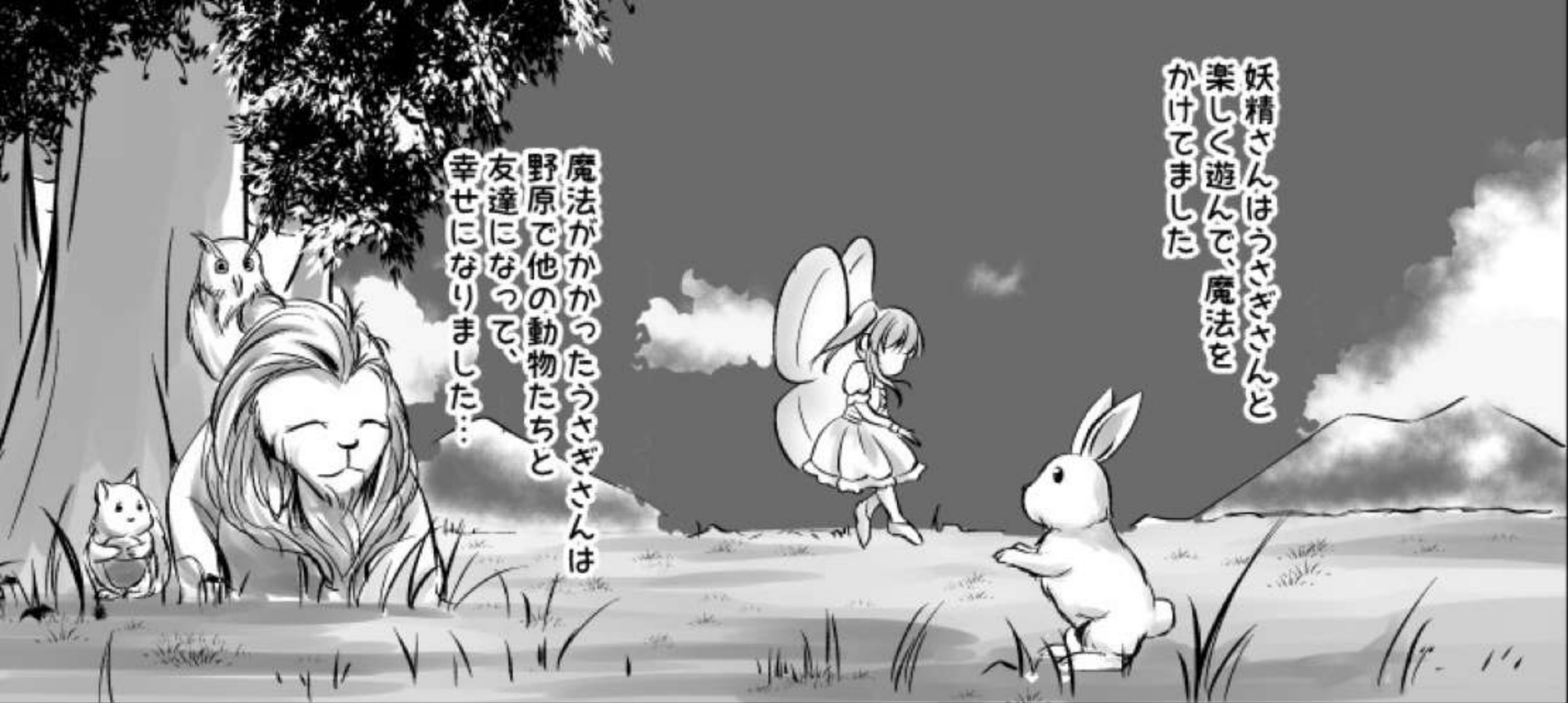


ある森に、
一匹のうさぎさんが
住んでいました。

そのうさぎさんは
とっても恥ずかしがり屋さんで、
友達もできず、いつも森のなかに
引きこもっていました。

ある日、うさぎさんは
これじゃダメだと思い、
勇気を出して、森から
一歩踏み出してみました。

森の外には広い野原があつて、
そこでうさぎさんは
ある妖精さんと
出会いました…



妖精さんはうさぎさんと
楽しく遊んで、魔法を
かけてました

魔法がかかったうさぎさんは
野原で他の動物たちと
友達になって、
幸せになりました…



…それって

俺が妖精さん
…と?

あの日…
Pさんと出会えたあと、
私は魔法にかかった
うさぎさんみたいに



あの絵本を読んだ時、
思ったんです…

なんだか、
自分を変えるために
オーディションに参加した
私を見ているような…



アイドルになって、
自信もついで

毎日が楽しくなって、
みんなに分けても
余るぐらい幸せで…

…だから、かな…



カフェで寝た時…
変な夢を
見たんです

Pさんが…実は
絵本の中の人で…
絵本に帰っちゃおうの

ただの夢だと
わかってますっ
でも…

やっぱり、
こわいの…

いつも
大好きな場所を見つけてくれる
アロテューサーさんが…

いつか
いなくなってしまうたら…

大丈夫だ

俺は絵本の人
じゃないし、

ちゃんと、
ここにいますから

君がここに
いたいと思う限り

見捨てたり
しないから

…
じゃあ…



後ろに
移ろうか...

...はあ...

確かめさせて...
いいですか？





あ...あ...

ひぢやっ、ちぢやっ、ちぢやっ

あ...
ちが...

もしかして...今日は期待してた？

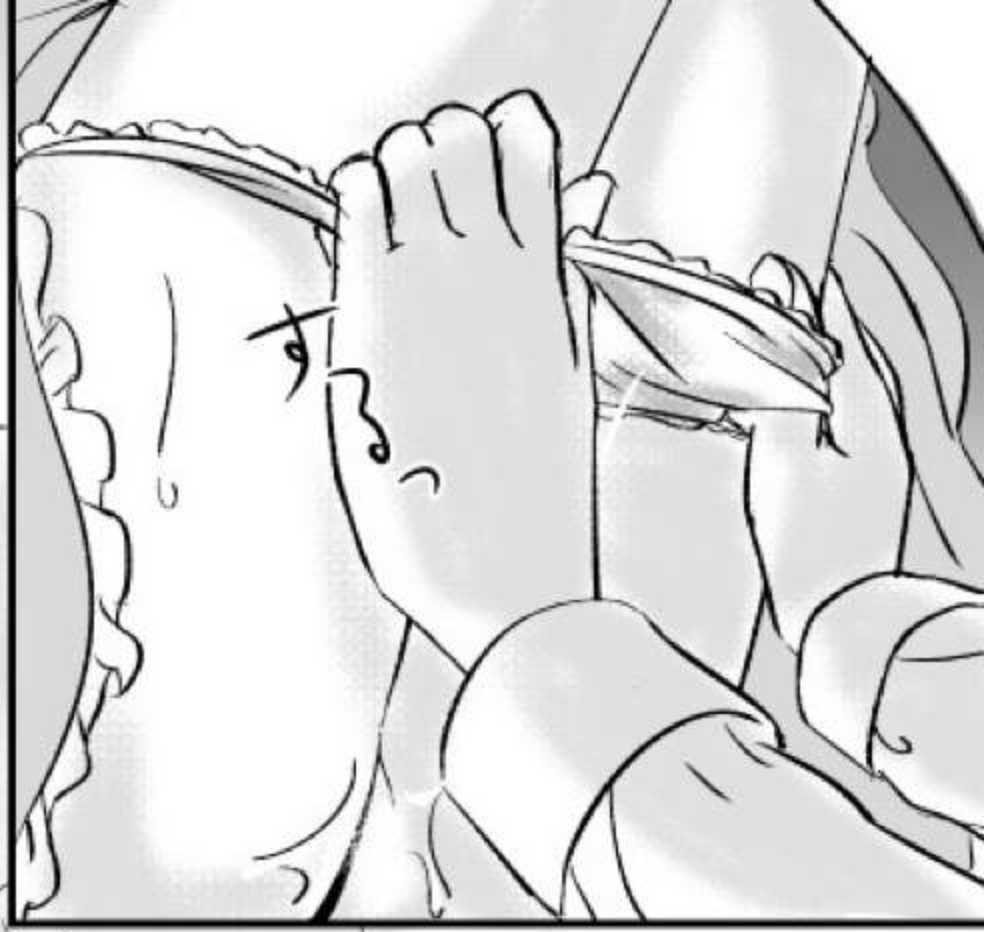


いつもより濡れてるよ、こゝ

ぢ...ぢ...

ひぢやっ





智絵里...

あっ

待って...



今日は私から...

してあげます...ね?



大丈夫?

ん...

は、はい...

あんっ!!



あ...

ん...

す...

だ...
ん...

あ...

だ...

ねえ...

はあ...

あ...

は...

ん...

うん...俺も好きだよ



あー
ふあーいんっ

わたし…ちゃんと
できてますか？

ちゃんと…わたしで
感じてくれますか？

はあ
…Pさん
はあ

私のこと
好きにして…
いい…からっ
…っ

どうや…
あー
気持ちよく…
なって…くださいっ



あー
ずちゅっ
…じゃあ

こっ…
しよっか

え…っ？



ふあぁッ!!

ア...

見えるよ、ほら...

や...です...

見え...ないの...

Pさんが...

でも...

はあ...ン

あ...ッ

こうした方が
気持ちいいだろ？

バックミラーを見て？

俺がちやんと
いるのが見える
だろう？

え...？



...っ!



いや...!



だから...!



いや...!

見ないでっ...
こんな顔...!



君のキモチを...!



もっと見せて?!



でも俺は見たいよ?



あう...!

俺に見せてくれるの、
本当に嬉しいんだ

あなたに
喜んでほしくて

あんっ

ずちゅっ

ぞんっ

一生懸命
頑張ってるつもりなのに

まっ……て……

あっ

ずちゅっ

はあ

声……

はあ

抑えられ……
なくなっちゃう

じゃあ……

ずちゅっ……

むぐっ……

わおっ

これで
我慢して？

それが
悔しくて

ちゅっ

私の……

味が……

いつも
自分ばかりが
喜んじゃう……

ちゅっ

んんん……

やっぱりわたしは
ダメな子だって
思っちゃう……

こんなわたしでも、
あなたは望んでくれる

もう…
出そうだ…っ

でも…

おは…

ああ…
あ…
お…
あた…

おねがい…
このまま…最後まで
離さないで…

あ…
ずっと…
一緒だからな…
…いつまでも
こんな感じじゃ
ダメだけど

それがうれしくて
結局、あなたに
甘えたくなっちゃう

うっ…
今は…少しだけ
あ…
も…
だめ…



ふんふんやや...
ハハハハハハ?

あぁー...





はー

はー



あす

はあ



智絵里...

P...さん



あっ

くくさき...ひさし



大丈夫?

はー

どうしたの？

……



Pさん...



ギク...



ねえ...

わたし、これからも...



あ、ちよこ

あなたのために...



うっ...

もっともっと

がんばりますから...



ん...

ずっとずっと…見守っててください、ね…？



私のワガママを
聞いてくれて

ありがとう、
Pさん

とつてもきれいな
お花ですっ

わあ…！



そういえば
お花以外にも
用意したものが…

お、
来たか…



ワガママなんか
じゃなくて

その分、智絵里の気持ち
がよく伝わったから
応えてやりたいと思った

正直、造花のことで
直訴してきた時は
ビックリしたけど

ナナ
でーっす☆

NANA ABE

27

キラッ☆



ああーっ、
ちよつと引かないで…

いやあ、脊髄反射で
つい…

って、なんで
あなた達が
それやるん
ですか？

オホッ！

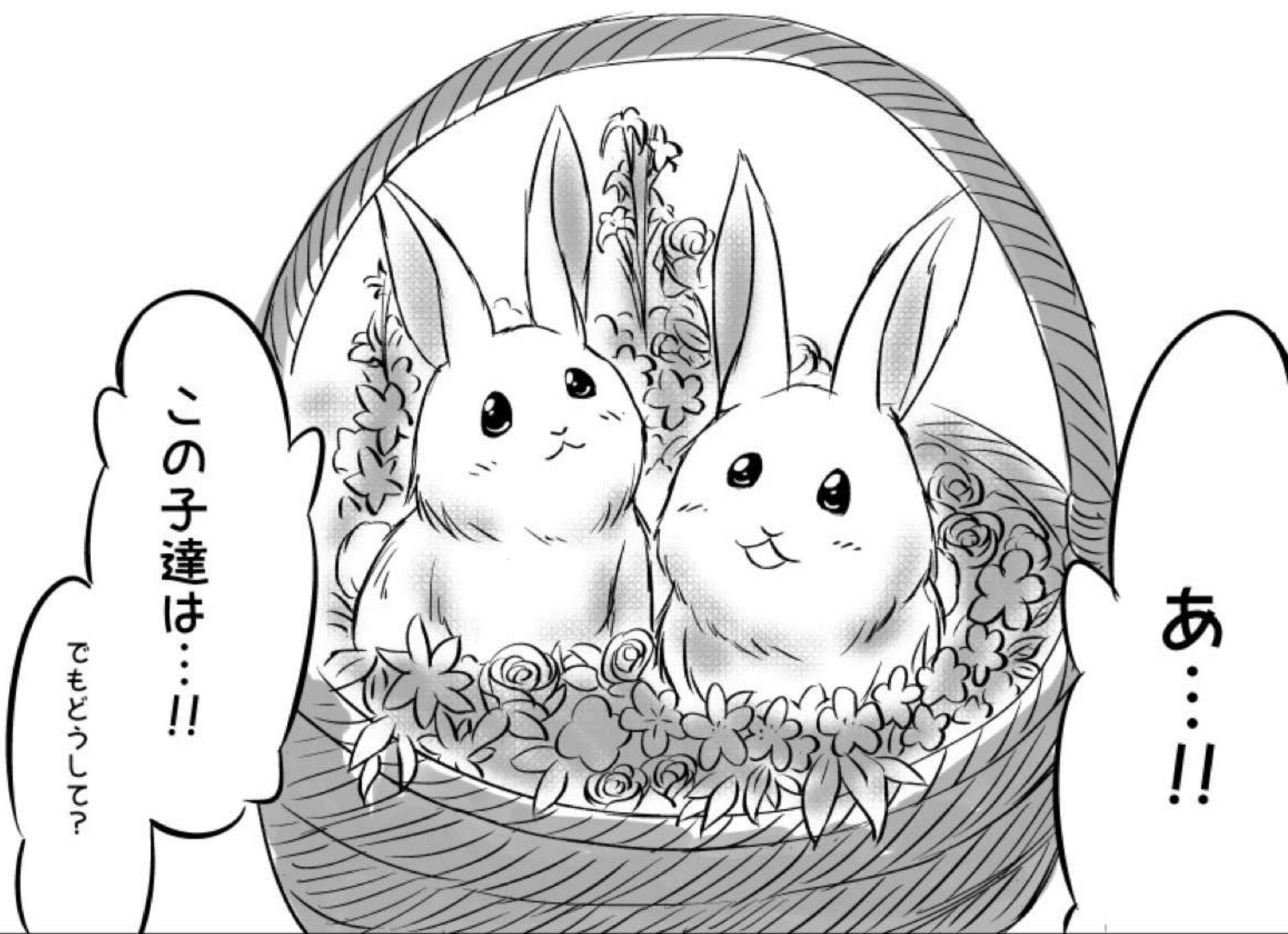
それより、今日は
智絵里ちゃんのために
あるものを連れてきたのです

私のため…に？

いやあ、
いきなりなもんだから
結構大変でしたよお

おほい！

？



この子達は…!!

でもどうして…

あ…!!



この間、智絵里からお花の話聞いた後、

ウサギスリッパも
いっそ本物にしたなら
…って思ってたさ

その話をPさんから聞いて、
例のウサギカフェまで
一緒にお願ひしてきました!

智絵里ちゃんも
この子達とまた
会いたいよね?



ここまでして
もらえるなんて…

私…このお仕事
絶対頑張って
期待に応えますからっ



ありがとうございます…

菜々ちゃん

ふふっ♡



…そして

Pさん…



本当はね…

うさぎさんも
本物だったらいいな、って
思ってたんですっ

でも、これ以上ワガママ言ったら
Pさんに迷惑かかっちゃうから…
せめて、お花だけでも…って……

やっほーりPさんは...

私に幸せを運んでくれる
妖精さんですっ...!



ソレ
恥ずかしいから
やっぱりやめよ？

ええ〜？
だって
だって…

いやあ〜

若いって
良いですねえ〜

ま〜
ま〜
ま〜



おま
菜々

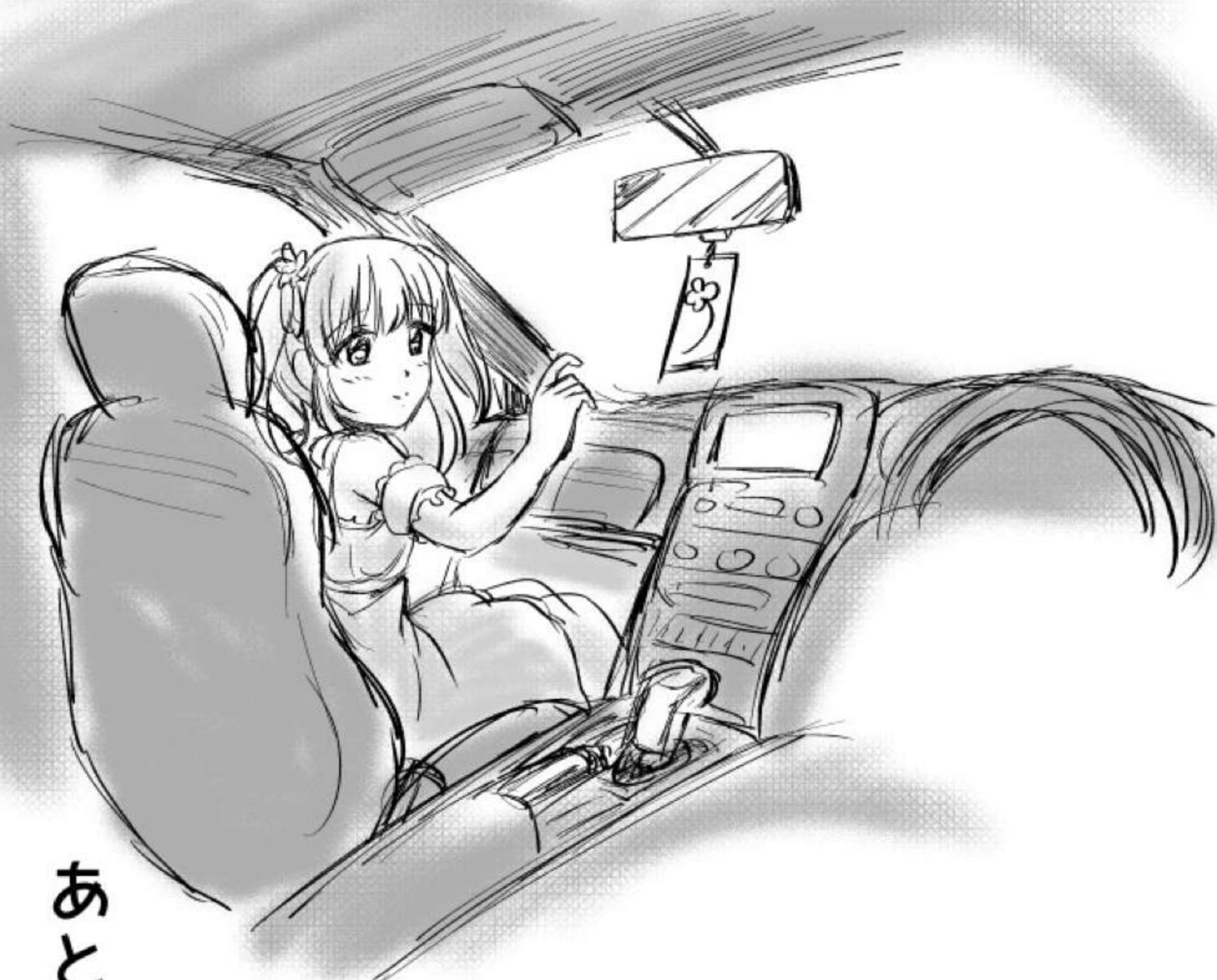
ちか

!!

P



fin



あとがき

こんにちは、KEN・Kです。
こちらの本を手にとっていただき、ありがとうございます。

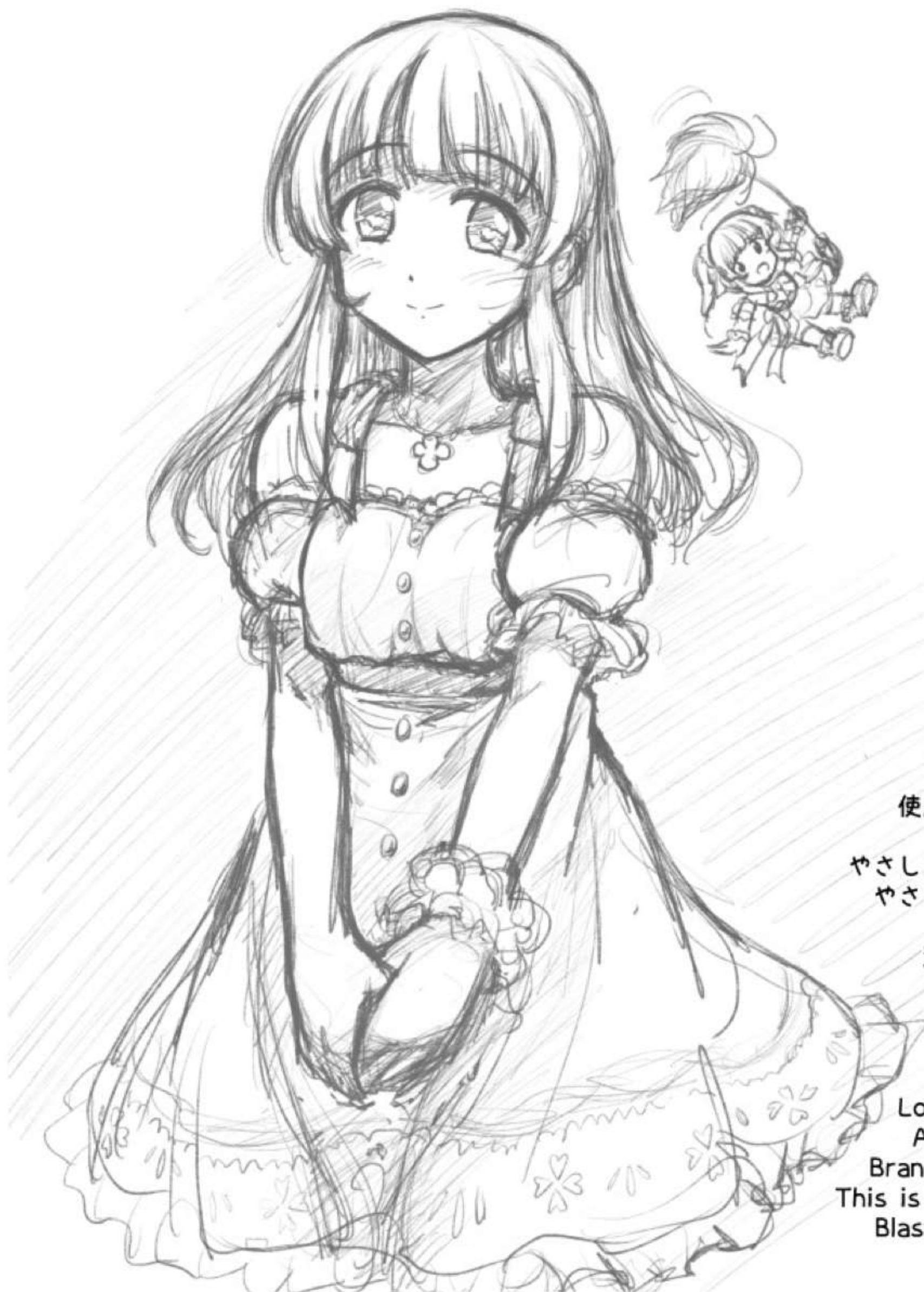
C93に続き、またもや智絵里のR18本を描いたわけですが、
今回のお話は、実は結構前から構想がありました。
マイフェアリーテイルをベースとしながら、プロデューサーに見捨てられないか不安になる、
どちらかというところ初期の智絵里をイメージしています。
あの智絵里が大好きなので、成長した今でもたまにはそういう部分を見せて欲しい…
そう思いながら、この話を考えました。

絵本については完全に想像ですが、
もともとあれのタイトルがThe tale of a small rabbitで、
実は妖精じゃなくて、うさぎのお話ではないか、という発想です。

いろいろと個人的な好みと解釈を入れたこの本ですが、その分気持ちも込めました。
智絵里オンリーの開催を聞いた時も、この本をここで出したいと思いました。

あまりR18本のあとがきで言うことじゃないのかもしれませんが、
私なりの、智絵里への気持ちが伝われば幸いです。

次はさすがに一般向け本を作りたいと思いますが、果たしてどうなるのかw
その時は、またよろしくおねがいします。



使用フォント：
りいポップ角
やさしさアンチック
やさしさゴシック
ふい字P
源暎ノニブル

作業BGM：
Love∞Destiny
AnemoneStar
Brand New Love
This is My Destiny
Blast My Desire

ページ余ったので使用したフォントと作業BGMでも乗せてみました(汗)
ついでに智絵里の髪を下ろした絵も…

やっぱり定期的にツインテールを下ろした姿が見たい欲が……公式はよ

「わたしの妖精さん」

発行日：2018.06.17

発行：沈黙の輪

印刷：株式会社サングループ様

mail：kenkaz.kc@gmail.com

twitter：9KENK9

pixiv：227171





どんな時でも 一緒に…

THE IDOLM@STER CINDERELLA GIRLS
Ogata Chieri Unofficial Fanbook
Presented by "Silent Wheel"
June 2018